



## 新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成24年10月18日に開催された薬事委員会において、新規常備医薬品12品目、剤型・規格追加医薬品7品目、切り替え医薬品2品目、削除医薬品11品目が承認されました。

## 薬剤師追加募集のお知らせ

来年4月からの薬剤部業務拡大のため、薬剤師を追加募集しています。詳細は薬剤部ホームページ (<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yakuzai/>) をご参照又は副薬剤部長内田 (0836-22-2672) までご連絡下さい。

## 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 294

### ★コンタクトレンズの適正使用と眼障害防止について

視力補正用コンタクトレンズ、非視力補正用コンタクトレンズ（いわゆるおしゃれ用カラーコンタクトレンズ）は、薬事法に基づき「高度管理医療機器」として規制され、安全性、品質の確保が行われている。本稿では、コンタクトレンズによる眼障害（角膜浸潤・びらんなどの角膜障害、結膜障害等）について報告するとともに、使用者への適正使用の注意喚起の徹底をお願いする。

### ★平成23年シーズンのインフルエンザ予防接種後副反応報告のまとめについて

平成23年10月1日から同24年3月31日までのインフルエンザワクチンの副反応報告状況について、その概要を紹介する。また、平成24年3月31日までに集積されたインフルエンザワクチンの副反応報告を整理・調査した結果、ネフローゼ症候群については、因果関係が否定できない国内症例（直近3年間）が3例集積していることから、関係企業に対し、平成24年7月10日に使用上の注意の改訂指示を行ったので、その安全対策の内容についても紹介する。

### ★重要な副作用等に関する情報

#### ◎オキサリプラチン（商品名：エルプラット点滴静注液 50mg・100mg）＜抗悪性腫瘍薬＞

【重大な副作用】横紋筋融解症：筋肉痛、脱力感、CK（CPK）上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇等が認められた場合には、投与中止、適切な処置。急性腎不全の発症に注意。

※横紋筋融解症：1例（うち死亡1例）（平成21年4月1日～平成24年5月8日）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>)  
又は厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/>) から入手可能。

## 「効能・効果」及び「用法・用量」改訂のお知らせ

### ★アロキシ静注 0.75mg（一般名：パロノセトロン）＜5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤＞

【用法・用量】0.75mgを1日1回静注又は点滴静注

### ★ジェムザール注射用 200mg・1g（一般名：ゲムシタピン塩酸塩）＜抗悪性腫瘍剤＞

【適応外効能・効果】再発又は難治性の悪性リンパ腫\*

※「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における公知申請への該当性に係る報告書に基づき、2012年9月6日以降保険適用されているが、国内未承認

### ★ゾシン静注用 4.5（一般名：ゾパカナムナトリウム・ピペラシリンナトリウム）＜β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤＞

【効能・効果】＜適応菌種＞ペプトストレプトコッカス属、クロストリジウム属（クロストリジウム・デオフィシルを除く）、バクテロイデス属、プレボテラ属

＜適応症＞腹膜炎、腹腔内腫瘍、胆嚢炎、胆管炎

### ★プラビックス錠 25mg・75mg（一般名：クロピドグレル硫酸塩）＜抗血小板剤＞

【効能・効果】末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制 【用法・用量】75mgを1日1回

## 「禁忌」追加のお知らせ

### ★エフピーOD錠 2.5(一般名:セレギリン塩酸塩)＜パーキンソン病治療剤＞

【併用禁忌】トラマドール塩酸塩（トラマドール等）：

- ・高度の興奮、精神錯乱等発現報告のため
- ・トラマドール塩酸塩の投与を開始するには少なくとも本剤投与中止後 14 日間の間隔を置く、またトラマドールから切り替える場合には 2～3 日間の間隔を置くこと

### ★シベノール錠 100mg(一般名:シベンゾリンコハク酸塩)＜不整脈治療剤＞

【禁忌】本剤成分過敏症既往歴

### ★シンビット静注用 50mg(一般名:ニフェカレント塩酸塩)＜不整脈治療剤＞（緊急購入薬）

【併用禁忌】フィンゴリモド塩酸塩（イムセラ、ジレニア）：

- ・併用により Torsades de pointes 等の重篤な不整脈を生じるおそれあり
- ・併用により不整脈増強のおそれあり

### ★オメプラール錠 10mg(一般名:オメプラゾール)・注 20mg(一般名:オメプラゾールナトリウム)＜プロトンポンプ・インヒター＞

### ★ネキシウム cap20mg(一般名:エソメプラゾールマグネシウム水和物)＜プロトンポンプ・インヒター＞

【併用禁忌】リルピピリン塩酸塩（エジュラント）：

- ・リルピピリン塩酸塩作用減弱のおそれ
- ・胃酸分泌抑制作用によりリルピピリン塩酸塩の吸収低下、血中濃度低下

## 適正使用のお願い

### ★イグザレルト錠 10mg・15mg(一般名:リバーロキサバン)＜選択的 direct 作用型第 Xa 因子阻害剤＞

本剤服用中の高血圧合併患者において、脳出血を発症し、その後死亡に至った事例が 4 例（9 月 20 日時点）報告されている。脳出血発症の一因として、血圧管理不十分と考えられる重症の高血圧合併例が含まれているため、本剤使用の際は、高血圧合併例については、出血リスク軽減のため、十分な血圧管理を行うこと。

### ★テラビック錠 250mg(一般名:テラプレビル)＜抗ウイルス剤＞

本剤投与開始早期に急性腎不全等重篤な腎機能障害が発現することがあるため、投与時は以下の点に注意。

1. 次の患者には、テラビックの投与量を調節して開始する（例えば 1 日 1500mg）など投与量に十分に注意し、腎機能検査も行いながら慎重に投与すること。  
⇒腎機能障害のある患者、高齢者、高血圧のある患者、糖尿病のある患者
2. テラビック投与開始 1 週間以内は、週 2 回腎機能検査を実施すること。  
（重篤な腎機能障害は投与開始早期（1 週間以内）に多く見られるため）  
⇒血中クレアチニン等の顕著な増加等が認められた場合は、リスク・ベネフィットを考慮のうえ、テラビック投与中止、補液投与など適切な処置を行うこと。

### ★トランサミン注 5%・10%(一般名:トラネキサム酸)＜止血剤＞

心臓手術時の止血を目的として本剤の大量投与（国内症例では 8～10g）が行われる際に、因果関係は明確ではないものの、重篤な痙攣の発生が 10 例報告されている。また、海外においても、心臓手術後の痙攣発作と高用量のトラネキサム酸投与との関連を示唆する文献が 3 件報告されている。トランサミン注を心臓手術時に使用の際は、重篤な痙攣の発現に注意すること。

### ★ニフレック配合内用剤＜経口腸管洗浄剤＞

本剤の副作用症例の中に用法を大きく逸脱した症例（例：2L を 20 分で服用）があるため、投与の際は、以下の点に注意し、用法を遵守するよう患者へ指導すること。

＜注意事項＞

1. 溶解液は必ず約 2L にすること。⇒濃すぎたり薄すぎたりした場合には電解質異常をきたすおそれあり。
2. 飲み始めのコップ 2～3 杯目までは特にゆっくり投与し、約 1L を 1 時間のペースで投与すること。  
⇒短時間での投与は、胃内圧上昇あるいは嘔気・嘔吐を起こすおそれがあり、マロリー・ワイス症候群の原因になると考えられる。また、消化管内容物が急速に移動することで大腸内での詰まりが生じ、腸閉塞になるおそれがある。
3. 高齢者にはよりゆっくりと（飲み始めだけでなく、飲み終わりまで 15 分で 1 杯のペース）投与すること。  
⇒高齢者において腸管穿孔、腸閉塞を起こした場合は、より重篤な転帰をたどることがある。

# 製造販売元社名変更のお知らせ

## ★クレキサン皮下注キット 2000IU(一般名:エノキサパリンナトリウム)＜血液凝固阻止剤＞

製造販売元社名：(旧) サノフィ・アベンティス株式会社 → (2012年10月1日以降) サノフィ株式会社

# 包装変更のお知らせ

## ★アービタックス注射液(一般名:セツキシマブ)＜抗悪性腫瘍剤＞

|         | 従来品 |   | 変更品  |
|---------|-----|---|--|
| バイアルラベル |     | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>・禁・凍結を削除</li> <li>・製造番号と使用期限の表示位置を上下逆に変更</li> <li>・新ロゴ対応</li> </ul> |

## ★エプピーOD錠 2.5(一般名:セレギリン塩酸塩)＜パーキンソン病治療剤＞

|        | 従来品          |   | 変更品                        |
|--------|--------------|---|----------------------------|
| 錠剤刻印   | 刻印なし         | → | 刻印：FP2.5                   |
| 外形(厚さ) | 4.1 mm       |   | 4.2mm                      |
| PTPシート | 識別コード：FPF182 |   | 識別コード：FP-OD2.5<br>新バーコード表示 |

## ★大塚生食注 50mL・100mL(一般名:塩化ナトリウム)

## ★大塚糖液 5%50mL・100mL(一般名:ブドウ糖)

|       | 従来品 |   | 変更品   |
|-------|-----|---|---|
| ラベル表示 |     | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本薬局方収載名を大きく表示</li> <li>・使用期限・製造番号：白抜き印字</li> </ul> |

## ★シベノール錠 100mg(一般名:シベンゾリンコハク酸塩)＜狭心症治療剤＞

|      | 従来品     |  | 変更品          |
|------|---------|--|--------------|
| 錠剤刻印 | 刻印：f312 |  | 刻印：シベノール 100 |

## ★シムピコートタービュヘイラー60吸入(一般名:ブテソニド・ホルモテロール fumarate水和物)＜ドライパウダー吸入式喘息治療配合剤＞

|       | 従来品 |   | 変更品  |
|-------|-----|---|--|
| ラベル表示 |     | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬効分類名を「ドライパウダー吸入式喘息・COPD治療配合剤」に変更</li> </ul> |

## ★テシプール錠 1mg(一般名:セチプチリンマレイン酸塩)＜四環系抗うつ剤＞

|        | 従来品 |   | 変更品  |
|--------|-----|---|--|
| PTPシート |     | → | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調剤包装単位コード表示</li> <li>・シートデザイン変更</li> </ul> |

## ★プレタール OD錠 50mg(一般名:シロスタゾール)＜抗血小板剤＞

|        | 従来品                    |   | 変更品                              |
|--------|------------------------|---|----------------------------------|
| 錠剤刻印   | 刻印<br>表面：OG19<br>裏面：なし | → | 刻印<br>表面：プレタール 50<br>裏面：プレタール 50 |
| PTPシート |                        |   | シートデザイン変更                        |

## ★ホリゾン注射液 10mg(一般名:ジアゼパム)＜マイナートランキライザー＞

|         | 従来品 |   | 変更品             |
|---------|-----|---|-----------------|
| アンプルラベル |     | → | 製造販売元を「丸石製薬」に変更 |

## ★ラコール NF 配合経腸用液 400mL＜経腸栄養剤(経管・経口両用)＞

|       | 従来品 |   | 変更品             |
|-------|-----|---|-----------------|
| 目盛り変更 |     | → | 空気が入った状態の目盛りに変更 |

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

| 成分名（薬品名）   | 主な改訂内容  |
|--|---|
| ★デ <sup>®</sup> ノスマブ <sup>®</sup><br>（遺伝子組換え）<br>（ランマーク皮下注）                | <p>警告：・治療開始後数日から、重篤な低カルシウム血症があらわれることがあり、死亡に至った例が報告。投与に際しては、頻回に血液検査を行い、観察を十分に行うこと。重篤な低カルシウム血症発現軽減のため、血清補正カルシウム値が高値でない限り、カルシウム及びビタミンDの経口補充のもとに投与すること。</p> <p>・重度の腎機能障害患者では低カルシウム血症を起こすおそれが高いため、慎重に投与。</p> <p>・投与後に低カルシウム血症が認められた場合には、カルシウム及びビタミンDの経口投与に加えて、緊急を要する場合には、カルシウムの点滴投与併用など、適切な処置を速やかに行うこと。</p> <p>用法・用量に関連する使用上の注意：<br/>重篤な低カルシウム血症発現軽減のため、血清補正カルシウム値が高値でない限り、毎日少なくともカルシウムとして500mg及び天然型ビタミンDとして400IUの投与を行うこと。ただし、腎機能障害患者では、ビタミンDの活性化が障害されているため、腎機能障害の程度に応じ、ビタミンDについては活性型ビタミンDを使用するとともに、カルシウムについては投与の必要性を判断し、投与量を適宜調整すること。</p> <p>慎重投与：第Ⅲ相臨床試験では、クレアチンクリアランス値30mL/min未満の重度腎疾患患者及び透析の必要な末期腎不全患者は対象から除外され、本剤の使用経験が少ない。</p> <p>重要な基本的注意：・血清補正カルシウム値を確認し、低カルシウム血症が認められた場合には、低カルシウム血症を是正した後に、本剤の投与を開始すること。</p> <p>・投与後は頻回に血清カルシウム、リン等の血清電解質濃度を測定すること。</p> <p>重大な副作用：低カルシウム血症…死亡に至った例が報告。低カルシウム血症が認められた場合にはカルシウム及びビタミンDの経口投与に加え、緊急を要する場合にはカルシウムの点滴投与併用など、適切な処置を速やかに行う。</p> |
| ※ジ <sup>®</sup> クロフェナクナトリウム（点眼剤）<br>（ジ <sup>®</sup> クロフト <sup>®</sup> 点眼液） | <p>重大な副作用：ショック、アナフィラキシー…他剤形（内用剤、外用剤等）において、ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、血管浮腫、呼吸困難等）があらわれたとの報告があるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p>   |
| ※レボ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup> スチン塩酸塩（点鼻剤）<br>（リボ <sup>®</sup> スチン点鼻液）    | <p>重大な副作用：ショック、アナフィラキシー…点眼剤において、ショック、アナフィラキシー（呼吸困難、顔面浮腫等）があらわれたとの報告があるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。</p>   |
| ※テトラオキサクト <sup>®</sup> 酢酸塩<br>（0.5mg 製剤）<br>（コトロシ <sup>®</sup> Z筋注）        | <p>重要な基本的注意：投与中に水痘感染すると致命的な経過をたどることがあるので、次の注意が必要。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 投与前に水痘の既往や予防接種有無を確認。</li> <li>2) 水痘の既往のない患者においては、水痘への感染を極力防ぐよう常に十分な配慮と観察。感染が疑われる場合や感染した場合には、直ちに受診するよう指導し、適切な処置を講ずること。</li> <li>3) 水痘の既往や予防接種を受けたことがある患者であっても、本剤投与中は水痘を発症する可能性があるため留意。</li> </ol> <p>重大な副作用：誘発感染症、感染症の増悪…観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置</p>  |

医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）で確認可能

## 削除薬のお知らせ

下記薬剤のオーダ中止

| オーダ中止日     | 商品名                | 理由                                   |
|------------|--------------------|--------------------------------------|
| 2012.7.26  | サラゾピリン坐剤 500mg     | 在庫がなくなったため                           |
| 2012.8.15  | マンニゲン注 20%200mL    | 販売中止のため（代替品：マンニットール注射液「YD」300mL）     |
| 2012.8.20  | ノボリン 30R1000U/10mL | 販売中止のため                              |
| 2012.9.10  | エリスロシン点滴静注用 500mg  | 在庫がなくなったため（ジスロマック点滴静注用 500mg 採用のため）  |
| 2012.9.26  | レスキュラ点眼液 5mL       | 在庫がなくなったため（デュオトラバ配合点眼液 2.5mL 採用のため）  |
| 2012.10.1  | オメプラール錠 20mg       | 在庫がなくなったため（ネキシウム cap20mg 採用のため）      |
| 2012.10.5  | リピディル cap100mg     | 販売中止のため（リピディル錠 80mg と切り替え）           |
|            | アルマール錠 10mg        | 販売名変更のため（アロチノロール塩酸塩錠「DSP」10mg と切り替え） |
| 2012.10.12 | アトック DS40 μg/g     | 販売中止のため                              |

新規常備医薬品 HF追補版

平成24年10月18日

1. 新規常備医薬品 (合計12品目)

平成24年11月8日(木)よりオーダ開始

| 商品名                       | 剤形  | 規格           | 薬価        | 会社名                     | 成分・薬効  |
|---------------------------|-----|--------------|-----------|-------------------------|--|
| アシルバ<br>214               | 錠   | 20mg         | 136.9     | 武田                      | Azilsartan<br>高血圧症治療剤(ARB)<br>プロプレスと比較して有意な差をもって降圧効果に優れている。<br>組織移行性が優れているため、血管、臓器保護が期待できる。<br>【発売:2012.5.28.】   |
| アポカインインジェクター              | 注入器 |              |           | 協和発酵キリン                 | アポカイン皮下注用注入器<br>1回注入量を医師で設定可能<br>電動注入器 手動で注入困難な患者に有用<br>【発売:2012.7.27.】  |
| アポカイン皮下注<br>116           | 注   | 30mg         | 7,550     | 協和発酵キリン                 | Apomorphine Hydrochloride Hydrate<br>抗パーキンソン剤<br>既存の抗パーキンソン病薬で十分な効果が得られないオド症状に対するレスキュー療法の治療薬。<br>国内初の非麦角系ドパミン agonist の皮下投与製剤。<br>【発売:2012.7.27.】          |
| イモバックスポリオ皮下注<br>631       | 注   | 0.5mL / シリンジ |           | サファイ                    | 不活化ポリオワクチン<br>Inactivated Poliomyelitis Vaccine (Salk Vaccine)<br>従来の生ワクチンで問題になっていたワクチン関連麻痺の発生を抑制可能<br>【発売:2012.8.31.】                                     |
| キックリン<br>219              | Cap | 250mg        | 29.7      | アステラス                   | Bixalomer<br>高リン血症治療剤<br>金属を含まない非吸収性ポリマー製剤<br>水分吸収による膨張の少ない、低膨潤性リン酸結合性ポリマー<br>胃腸障害軽減<br>【発売:2012.6.26.】  |
| サムチレール内用懸濁液<br>15%<br>629 | 内用液 | 5mL / 包      | 1,679.6   | GSK                     | Atovaquone<br>ニューモシス肺炎(PCP)治療剤<br>ST 合剤使用困難な患者に対するニューモシス肺炎治療薬<br>軽症から中等症のPCP 患者に対する有効性が確認<br>発症抑制において、PCP 発症リスクの高い患者に対する有効性が確認<br>全例調査<br>【発売:2012.4.17.】  |
| シーエルセントリ<br>625           | 錠   | 150mg        | 2,278.8   | ViiV                    | Maraviroc<br>抗ウイルス化学療法剤(CCR5 阻害剤)<br>世界初の経口投与可能なHIV 侵入阻害剤(新規作用機序)<br>初回治療例のみでなく、多剤耐性例で有効な場合あり<br>【発売:2009.1.22.】   |
| タイロゲン筋注用<br>799           | 注   | 0.9mg        | 102,849   | 佐藤製薬                    | Thyrotropin human alfa (genetical recombination)<br>遺伝子組換えヒト型甲状腺刺激ホルモン製剤<br>甲状腺癌全摘後のアプレーションや診断時、甲状腺ホルモン剤の長期中断不要 患者のQOL維持<br>従来法と有効性は同等<br>【発売:2009. 1.13.】 |
| トラゼンタ<br>396              | 錠   | 5mg          | 209.4     | 日本<br>ハートリガー<br>インゲルハイム | Linagliptin<br>2 型糖尿病治療剤<br>胆汁排泄型選択的DPP-4 阻害薬 腎機能リスクの高い患者に最適、腎機能に応じた用量調節不要<br>1日1回1錠で有効<br>【発売:2011.9. 15.】  |
| ビスタイン静注用<br>131           | 注   | 15mg         | 182,450   | ノバルティス                  | Verteporfin<br>加齢黄斑変性症治療剤<br>光線力学的療法用製剤<br>従来のレーザー-光凝固術では治療できなかった中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症への治療、抗VEGF薬で再発を繰り返す症例に対し効果が期待<br>【発売:2004.5. 10. 】                   |
| ヘネフィクス静注用<br>634          | 注   | 2000IU       | 206,136.0 | ファイザー                   | Nonacog Alfa (Genetical Recombination)<br>遺伝子組換え血液凝固第IX因子製剤(血友病B治療薬)<br>ヒト及び動物の血漿成分不使用 感染リスク低減<br>製剤溶解液が充填済みのシリンジ 調製・手技簡便<br>【発売:2010. 1. 20. 】            |

|              |   |       |      |       |   |
|--------------|---|-------|------|-------|---|
| レグナイト<br>634 | 錠 | 300mg | 98.5 | アステラス | Gabapentin Enacarbil<br>ストレスレス症候群治療剤<br>米国ストレスレス症候群財団治療アルゴリズム掲載のガバペンチンの<br>プロドラッグ<br>薬物動態の改善（用量依存的に血中濃度上昇）<br>1日1回の徐放性製剤<br>【発売:2012.7.10.】 |
|--------------|---|-------|------|-------|---|

## 2. 剤形・規格追加医薬品（合計7品目）

| 商品名                | 剤形 | 規格             | 薬価             | 会社名         | 成分・薬効   |
|--------------------|----|----------------|----------------|-------------|---|
| アドリアシン<br>423      | 注  | 50mg           | 9,562.0        | 協和発酵<br>キリン | Doxorubicin Hydrochloride<br>抗悪性腫瘍剤<br>大量に調製する場合、従来(10mg製剤)より調製時間が短縮可能<br>抗がん剤の被曝を軽減可能<br>10mg製剤(薬価2,110/V)X5 = 10,550<br>50mg製剤(薬価9,562/V)と988円経済的<br>【発売:2010.11.19.】 |
| イムブラタ-<br>639      | 注  | 40mg           | 9,455.8        | 日本BCG       | Freezed-dried BCG(intravesical)<br>抗悪性腫瘍剤(膀胱癌治療薬)<br>標準的な投与方法:週1回80mg、8回投与より高齢者や重篤な合併症を有する患者へは治療効果、副作用の点から週1回40mgが有用<br>【発売:2004.9.】                                    |
| パキシルCR<br>117      | 錠  | 12.5mg<br>25mg | 105.6<br>184.7 | GSK         | Paroxetine Hydrochloride Hydrate<br>選択的セロトニン再取り込み阻害剤<br>本邦初のコントロールリ-スタブの抗うつ剤<br>投与初期の消化器症状発現を軽減<br>【発売:2012.6.22.】  |
| ファルモルビシン<br>423    | 注  | 50mg           | 23,008         | ファイザー       | Epirubicin Hydrochloride<br>抗悪性腫瘍剤<br>大量に調製する場合、従来(10mg製剤)より調製時間が短縮可能<br>抗がん剤の被曝を軽減可能<br>10mg製剤(薬価5,120/V)X5 = 25,600<br>50mg製剤(薬価23,008/V)と2,592円経済的<br>【発売:2006.8.1.】 |
| ホナロ点滴静注バッグ<br>399  | 注  | 900μg/100mL    | 4,498          | 帝人          | Alendronate Sodium Hydrate<br>骨粗鬆症治療剤<br>4週に1回点滴静注製剤<br>経口ビスホスホネート服用困難または禁忌の患者へ投与可能<br>【発売:2012.5.10.】  |
| ムコスタ点眼液UD2%<br>131 | 点眼 | 0.35mL         | 26.3/本         | 大塚製薬        | Rebamipide<br>ドライアイ治療剤(ムチン産生促進剤)<br>角結膜上皮障害を改善<br>異物感・眼痛等の自覚症状を改善<br>涙液層破壊時間(BUT)を延長<br>ムチン産生促進作用とゴブレット細胞数の増加作用<br>ユニットドーズ(1回使用タイプ)の製剤であり、保存剤非含有<br>【発売:2012.1.5.】      |

## 3. 切り替え医薬品（合計2品目）

| 商品名                       | 剤形   | 規格      | 薬価      | 会社名    | 成分・薬効  |
|---------------------------|------|---------|---------|--------|--|
| 強力ネオミノファーゲンC静注シリンジ<br>391 | 注    | 20mL/本  | 215.0   | エーザイ   | Monoammonium glycyrrhizinate, Glycine, L-Cysteine hydrochloride hydrate<br>肝臓疾患用剤・アレルギー用薬<br>プレフィルドシリンジ製剤 手技簡便、清潔、調製時間の短縮<br>【発売:2009.5.21.】               |
| ヒ-ロソ0.6眼粘弾剤1%<br>131      | 眼粘弾剤 | 0.6mL/本 | 6,797.3 | エイエムオー | Sodium Hyaluronate<br>眼科手術補助剤<br>従来薬(ヒ-ロソ0.4眼粘弾剤)と同一成分で規格変更<br>現在、白内障手術の際に従来薬は2本必要であったが、0.6mLに規格変更することで1本のみ使用となり経済的である(0.4mLと0.6mL製剤は同薬価)<br>【発売:2009.11.】 |

4. 新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品（合計8品目）

| 商品名           | 剤形  | 規格    | 削除理由                                  |
|---------------|-----|-------|---------------------------------------|
| イムシト膀注用       | 注   | 81mg  | イムノラダ-膀注用40mg採用の場合、削除                 |
| 強力ネオミノファーゲンCP | 注   | 20mL  | 強力ネオミノファーゲンC静注シリンジ 20mL採用の場合、削除       |
| ダイドレル         | 錠   | 250mg | ホナロン点滴静注用900 $\mu$ g採用の場合、削除          |
| ハキシル          | 錠   | 10mg  | ハキシルCR錠12.5・25mg採用の場合、緊急購入薬(精神科限定)へ変更 |
| ハキシル          | 錠   | 20mg  | ハキシルCR錠12.5・25mg採用の場合、削除              |
| ヒ-ロン0.4眼粘弾剤1% | 眼粘  | 0.4mL | ヒ-ロン0.6眼粘弾剤1%採用の場合、削除                 |
| アソプレス         | 錠   | 12mg  | アソルハ錠20mg採用の場合、削除                     |
| ヘルシピンLA       | Cap | 40mg  | キックリンCap250mg採用の場合、削除                 |

削除可能医薬品は、全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、削除します。あるいは、特定の診療科で問題のある場合、「診療科限定」に登録します。(注:「診療科限定」は原則、在庫しない医薬品です。)

5. 削除医薬品（合計11品目）

| 商品名          | 剤形 | 規格                                    | 削除理由   |
|--------------|----|---------------------------------------|--|
| エホシソ注シリンジ    | 注  | 1500IU<br>3000IU<br>6000IU<br>12000IU | エホシソアルファBS注シリンジ 1500,3000IU、ミルセラ注シリンジ 25,50,75,100,150,200 $\mu$ g採用のため、削除 |
| スターシス        | 錠  | 30mg                                  | シュアホスト錠0.5mg採用のため、削除   |
| ニコネルTTS      | 貼付 | 10<br>20<br>30                        | オンプレス吸入用Cap採用のため、削除  |
| フィニハックス点滴静注用 | 注  | 0.25g                                 | フィニハックス点滴静注用0.5g採用のため、削除   |
| フルメトン0.02%   | 点眼 | 5mL                                   | オベガン0.6眼粘弾剤1%採用のため、削除  |
| メインテート       | 錠  | 5mg                                   | メインテート錠2.5mg採用のため、削除   |



P38

## 抗HIV剤

マラビロク maraviroc

★シーエルセントリ Celsentri

ViiV  
薬価

錠〔劇〕:150mg

コード  
[シエル 01]

2,278.8

【効】CCR5 指向性 HIV-1 感染症

【用】1 回 300mg を 1 日 2 回投与 他の抗 HIV 薬と併用 併用薬に応じて適宜増減

### 【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】心筋虚血 肝硬変 肝不全 肝酵素上昇 肝機能検査異常 肺炎 食道カンジダ症 胆管癌 骨転移 肝転移 腹膜転移 汎血球減少症 好中球減少症 リンパ節症 幻覚 脳血管発作 意識消失 てんかん 小発作てんかん 痙攣 顔面神経麻痺 多発ニューロパシー 反射消失 白内障 呼吸窮迫 気管支痙攣 膵炎 直腸出血 筋炎 腎不全 多尿 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)

【備考】CCR5 阻害剤

P43

## その他の化学療法剤

アトバコン atovaquone

★サムチレール Samtirel

GSK  
薬価

内用懸濁液 15%:750mg/5mL/包

コード

[サムチ 01] 1,679.6

【効】ニューモシスチス肺炎治療及び発症抑制 (ST 合剤使用が困難な場合)

【用】治療:1 回 5mL を 1 日 2 回 21 日間食後投与 発症抑制:1 回 10mL を 1 日 1 回食後投与

### 【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】重度の肝機能障害 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) 多形紅斑





## 抗腫瘍性抗生物質

ドキシソルビシン塩酸塩(アドリアマイシン)

doxorubicin HCl(DXR), adriamycin(ADM)

★アドリアシン Adriacin

協和発酵キリン

コード 薬価

注用〔劇〕:50mg/V

[アト]62] 9,562

【効】(1)悪性リンパ腫(細網肉腫,リンパ肉腫,ホジキン病) 肺癌 消化器癌(胃癌,胆のう・胆管癌,膵臓癌,肝癌,結腸癌,直腸癌等) 乳癌 膀胱腫瘍 骨肉腫 (2)乳癌(手術可能例における術前、あるいは術後化学療法) (3)子宮体癌(術後化学療法、転移・再発時化学療法) (4)悪性骨・軟部腫瘍 (5)悪性骨腫瘍 (6)多発性骨髄腫 (7)小児悪性固形腫瘍(ユーストング肉腫ファミリー腫瘍、横紋筋肉腫、神経芽腫、網膜芽腫、肝芽種、腎芽腫等) (8)M-VAC療法:尿路上皮癌

【用】(1)(a)1日1回10mg(0.2mg/kg)を4~6日間連日静注、7~10日間休薬 (b)1日1回20mg(0.4mg/kg)を2~3日間連続静注、7~10日間休薬 (c)1日1回20mg~30mg(0.4~0.6mg/kg)を3日間連日静注、18日間休薬 (a)(b)(c)それぞれ2~3クール反復 (d)総投与量は500mg/m<sup>2</sup>以下 <膀胱

腫瘍>30mg~60mgを生食で1~2mg/mLにし、1日1回連日又は週2~3回膀胱腔内に注入(適宜増減) (2)<シクロホスファミドとの併用療法>60mg/m<sup>2</sup>を1日1回静注後20日間休薬、これを1クールとし4クール繰り返す(適宜減量) (3)<シスプラチンとの併用療法>60mg/m<sup>2</sup>を1日1回静注後休薬し、3週毎繰り返す(適宜減量) (4)<イホスファミドとの併用療法>20~30mg/m<sup>2</sup>を1日1回3日間連続で静注後休薬、これを3~4週毎繰り返す(適宜減量) <単独療法>(1)の(c)(d)に従う (5)<シスプラチンとの併用療法>20mg/m<sup>2</sup>を1日1回3日間連続で静注又は点滴静注後3週間休薬、これを1クールとし繰り返す(適宜減量) (6)<ビンクリスチン硫酸塩、デキサメタゾンリン酸エステルナトリウムとの併用療法>9mg/m<sup>2</sup>を24時間持続静注し、これを4日間連続後休薬、3~4週毎繰り返し1クールとする(適宜減量) (7)<他の抗悪性腫瘍剤との併用療法>(a)1日20~40mg/m<sup>2</sup>を24時間持続点滴:1コース20~80mg/m<sup>2</sup>を24~96時間かけて投与、繰り返す場合は少なくとも3週間以上の間隔をあける1日投与量は最大40mg/m<sup>2</sup> (b)1日1回20~40mg/m<sup>2</sup>を静注又は点滴静注:1コース20~80mg/m<sup>2</sup>を投与、繰り返す場合は少なくとも3週間

以上の間隔をあける 1 日投与量は最大 40mg/m<sup>2</sup> ((a)(b)とも適宜減量) (8)メトトレキサート 30mg/m<sup>2</sup>を 1 日目に投与後、2 日目にビンブラスチン硫酸塩 3mg/m<sup>2</sup>、ドキシソルビシン塩酸塩 30mg/m<sup>2</sup> 及びシスプラチン 70mg/m<sup>2</sup>を静注 15 日目及び 22 日目にメトトレキサート 30mg/m<sup>2</sup> 及びビンブラスチン硫酸塩 3mg/m<sup>2</sup>を静注 これを 1 クールとし 4 週毎に繰り返す(本剤は適宜減量) ※(2)~(8)において総投与量は 500mg/m<sup>2</sup> 以下

**【警】緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで実施 適応患者の選択は各併用薬剤の添付文書参照 有効性・危険性を十分説明し、同意を得てから投与 小児悪性固形腫瘍での使用は小児のがん化学療法に十分な知識・経験をもつ医師のもとで実施**

**【禁】心機能異常又はその既往 本剤成分過敏症**

**【重大な副作用】**心筋障害 心不全 骨髄機能抑制及び出血 ショック 間質性肺炎 [膀注]萎縮膀胱

**【備考】**総投与量が 500mg/m<sup>2</sup> を超えると重篤な心筋障害(心筋に蓄積) アントラサイクリン類

P130

## その他の抗アレルギー性疾患治療剤

グリチルリチン酸・グリシン・L-システイン配合剤

glycyrrhizinate・glycine・L-cysteine combined drug

### ★強カネオミノファーゲンシー

Stronger Neo-minophagen C

ミノファーゲン

コード 薬価

静注:20mL/シリンジ

[キョウ63]

215

**【効】**湿疹・皮膚炎 じんま疹 皮膚そう痒症 蕁麻疹・中毒疹 口内炎 小児ストロフルス フリクテン 慢性肝疾患における肝機能異常の改善

**【用】**1 日 1 回 5~20 mL 静注(適宜増減) 慢性肝疾患 :1 日 1 回 40~60 mL 静注又は点滴静注(適宜増減) 1 日 100 mL を限度とする

**【禁】本剤過敏症 アルドステロン症 ミオパシー 低K血症**

**【重大な副作用】**ショック アナフィラキシーショック アナフィラキシー様症状 偽アルドステロン症

**【備考】**20mL 中:グリチルリチン酸 40mg、グリシン 400mg、L-システイン塩酸塩 20mg

P143

## 糖尿病治療剤 経口血糖降下剤

リナグリプチン linagliptin

★トラゼンタ Trazenta

ベーリンガー

コード 薬価

錠:5mg

[トラセ 01] 209.4

【効】2 型糖尿病(食事療法・運動療法のみで効果が得られない場合)

【用】1 日 1 回 5mg

【禁】本剤成分過敏症 糖尿病性ケトアシドーシス 糖尿病性昏睡又は前昏睡 1 型糖尿病 重症感染症 手術前後 重篤な外傷

【重大な副作用】低血糖症

【備考】胆汁排泄型選択的 DPP-4 阻害剤

P160

## その他の代謝性医薬品

アレンドロン酸ナトリウム水和物 alendronate Na hydrate

★ボナロン Bonalon

帝人ファーマ

コード 薬価

点滴静注〔劇〕:900  $\mu$ g/100mL/バッグ〔ホナロ 61〕 4,498

【効】骨粗鬆症

【用】4 週に 1 回 900  $\mu$ g を 30 分以上かけて点滴静注

【禁】本剤成分あるいは他のビスホスホネート系薬剤 過敏症 低 Ca 血症

【重大な副作用】肝機能障害 黄疸 低 Ca 血症 中毒性表皮壊死融解症(TEN) 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 顎骨壊死 顎骨骨髓炎 大腿骨転子下及び近位大腿骨骨幹部の非定型骨折

【備考】ビスホスホネート系

P167

## 高リン血症治療剤

ビキサロマー bixalomer

|               |          |       |
|---------------|----------|-------|
| <b>★キックリン</b> | Kiklin   | アステラス |
|               |          | 薬価    |
|               | コード      |       |
| cap:250mg     | [キック 01] | 29.7  |

【効】透析中の慢性腎不全患者における高リン血症の改善

【用】1回 500mg を開始用量とし、1日 3回食直前投与  
症状、血清リン濃度の程度により適宜増減 最高 1日 7,500mg 増量を行う場合は1週間以上の間隔をあける

【禁】本剤成分過敏症 腸閉塞

【重大な副作用】虚血性腸炎 消化管出血 消化管潰瘍 便秘・便秘増悪

【備考】リン酸結合性ポリマー

P266

## その他の中枢神経系用剤

ガバペンチン エナカルビル gabapentin enacarbil

|               |          |       |
|---------------|----------|-------|
| <b>★レグナイト</b> | Regnite  | アステラス |
|               |          | 薬価    |
|               | コード      |       |
| 錠:300mg       | [レクナ 01] | 98.5  |

【効】中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)

【用】1日 1回 600mg を夕食後投与

【禁】本剤成分又はガバペンチン過敏症 高度の腎機能障害

## 抗パーキンソン剤

アポモルヒネ塩酸塩 apomorphine hydrochloride hydrate

**★アポカイン** Apokyn 協和発酵キリン  
コード 薬価

皮下注〔劇〕:30mg/3mL/カートリッジ [アホカ 61] 7,550

**【効】**パーキンソン病におけるオフ症状の改善(レボドパ含有製剤の頻回投与及び他の抗パーキンソン病薬の増量等を行っても十分に効果が得られない場合)

**【用】**パーキンソン病におけるオフ症状の発現時に皮下注 1回 1mg から始め、以後経過観察しながら1回量として 1mg ずつ増量し、維持量(1回量 1～6mg)を定める 症状により適宜増減 最高投与量 1回 6mg

**【警】**前兆のない突発的睡眠及び傾眠等がみられることがあるので、患者に本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明 本剤投与中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意

**【禁】**本剤成分過敏症 重度の肝機能不全(Child-Pugh class C 等)

**【重大な副作用】**突発的睡眠 傾眠 QT 延長 失神

狭心症 血圧低下 起立性低血圧 幻視 幻覚 幻聴 妄想

**【備考】**専用電動注入器(アポカインインジェクター)あり

P260

## うつ病治療剤 その他の抗うつ薬

パロキセチン塩酸塩水和物 paroxetine HCl hydrate

| ★パキシル Paxil   | コード     | GSK<br>薬価 |
|---------------|---------|-----------|
| CR錠[劇]:12.5mg | [ハキシ03] | 105.6     |
| CR錠[劇]:25mg   | [ハキシ04] | 184.7     |

【効】うつ病・うつ状態（24歳以下の患者はリスクとベネフィットを考慮）

【用】[CR錠]1日1回夕食後12.5mgより開始 1週間以上かけて1日25mgに増量 1日最高50mg 1週間以上の間隔をあけて1日12.5mgずつ増量（適宜増減）

【警】海外で実施した7～18歳の大うつ病性障害患者を対象としたプラセボ対照試験において有効性が確認できなかったとの報告 自殺に関するリスク増加の報告あり 18歳未満の大うつ病性障害患者に投与する際は適応を慎重に検討

【禁】本剤成分過敏症 MAO阻害剤投与中あるいは投与中止後2週間以内 ピモジド

【重大な副作用】セロトニン症候群 悪性症候群 錯乱 痙攣 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH) 重篤な肝機能障害 幻覚 せん妄 中毒性表皮壊

死融解症 皮膚粘膜眼症候群 多形紅斑  
【備考】セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)



P313

## アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬

アジルサルタン azilsartan

★アジルバ Azilva

武田  
薬価

コード  
[アシル 01] 136.9

錠:20mg

【効】高血圧症

【用】1日1回20mg（適宜増減）1日最大量40mg

【禁】本剤成分過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】血管浮腫 ショック 失神 意識消失  
急性腎不全 高カリウム血症

P383

## その他の点眼剤

レバミピド rebamipide

★ムコスタ Mucosta

大塚  
薬価

コード  
[ムコス 41] 26.3/本

点眼液 UD2%:0.35mL/本

【効】ドライアイ

【用】1回1滴、1日4回点眼

【禁】本剤成分過敏症

【備考】ムチン産生促進剤

P384

## 眼科用内用・注射用剤

ヒアルロン酸ナトリウム sodium hyaluronate

|                     |          |         |
|---------------------|----------|---------|
| ★ヒーロン Healon        | エイエムオー   |         |
|                     | コード      | 薬価      |
| 0.6 眼粘弾剤 1%:0.6mL/本 | [ヒロン 43] | 6,797.3 |

【効】(1) 白内障手術・眼内レンズ挿入術における手術補助 (2) 全層角膜移植術における手術補助

【用】(1) 白内障手術・眼内レンズ挿入術の連続施行: 0.2~0.75mL 前房内注入(眼内レンズのコーティングに約 0.1mL) 白内障手術又は眼内レンズ挿入術だけを施行する場合 (a) 白内障手術: 0.1~0.4mL 前房内注入 (b) 眼内レンズ挿入術: 眼内レンズ挿入前 0.1~0.5mL 前房内注入(眼内レンズのコーティングに約 0.1mL) (2) 全層角膜移植術: 移植眼の角膜片を除去後, 0.1~0.6mL 前房内注入し, 移植片角膜を本剤上に浮遊させて縫合を行う(提供眼の移植片角膜のコーティングには約 0.1 mL)

【原禁】本剤成分又は蛋白系薬剤過敏症

【備考】粘弾性物質

P418

## トキソイド・ワクチン類

不活化ポリオワクチン (ソークワクチン)

|                         |          |      |
|-------------------------|----------|------|
| ★イモバックスポリオ Imovax polio |          | サノフィ |
|                         | コード      | 薬価   |
| 皮下注〔劇〕: 0.5mL/シリンジ      | [イモハ 61] | -    |

【効】急性灰白髄炎の予防

【用】1 回 0.5mL ずつ皮下注 初回免疫: 生後 3 か月から初回接種を開始、3 週間以上の間隔をおいて 3 回接種

【禁】発熱 重篤な急性疾患 本剤成分によるアナフィラキシー 予防接種を行うことが不適当な状態

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 けいれん

【備考】不活化ワクチン

## 眼科用内用・注射用剤

ベルテポルフィン verteporfin

★ビスダイン Visudyne

ノバルティス

コード 薬価

静注用〔劇〕:15mg/V

〔ヒスタ 63〕 182,450

【効】中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性症

【用】6mg/m<sup>2</sup>を10分間かけて静注、本剤投与開始から15分後にレーザー光を治療スポットに照射。3ヵ月毎の検査時に蛍光眼底造影で脈絡膜新生血管からのフルオレセインの漏出が認められた場合は、再治療を実施

【警】本剤による光線力学的療法は、規定の講習を受け、安全性・有効性を十分に理解し、本剤の調製・投与及びレーザー照射に関する十分な知識・経験のある眼科専門医のみが実施。本剤投与後48時間は皮膚又は眼を直射日光や強い室内光に暴露させないように注意。本剤投与後48時間以内に緊急手術を要する場合は、できる限り内部組織を強い光から保護。光照射により本剤を活性化させた場合に、視力低下等の高度の視覚障害が誘発されるおそれがあり、回復しなかった症例も認められてい

ることから、本剤による光線力学的療法のリスクについても十分説明した上で、本治療を施行。本剤は特定の適切な眼科用光線力学的療法用レーザーにより光照射した場合にのみ、適正かつ安全に使用できることが確認されている、本剤の光活性化の基準に適合しないレーザーは使用しない。光熱凝固のために使用されているレーザーを本剤の活性化に用いることはできない

【禁】ポルフィリン症 本剤成分過敏症 眼底の観察が困難

【重大な副作用】眼障害 アナフィラキシー様反応 血管迷走神経反応 脳梗塞 大動脈瘤 心筋梗塞 出血性胃潰瘍 全身性の疼痛

## その他の生物学的製剤

乾燥BCG freeze-dried BCG

**★イムノブラダー** Immunobladder 日本BCG  
 薬価  
 コード  
 膀胱用〔劇〕:40mg/V [イムノ 42] 9,455.8

【効】表在性膀胱癌 膀胱上皮内癌

【用】1回 80mg を尿道カテーテルで膀胱内にできるだけゆっくり緩徐注入し、2時間保持 週1回 8週間繰り返す（適宜増減、投与間隔も必要に応じ延長可）

【警】経尿道的切除術(TUR-Bt),生検及びカテーテル挿入により外傷を生じた直後には本剤を投与すべきではなく、外傷の治癒の状態を観察しながら、7日から14日間間隔をあけて投与する 咳嗽及び皮疹等を伴ったアナフィラキシー様症状に起因したと考えられる死亡例が認められているので、このような場合は、本剤の投与を中止し直ちに抗ヒスタミン剤又はステロイド剤の投与とともに、抗結核剤による治療が必要 本剤は生菌製剤であり、米国において院内感染の報告があるので、十分注意して適切に扱うこと

【禁】AIDS,白血病,悪性リンパ腫等併発疾患又は抗癌療法による免疫抑制状態 先天性又は後天性免疫

不全 HIV キャリア 免疫抑制量のステロイド剤 他の免疫抑制剤 活動性の結核症 熱性疾患 尿路感染症 肉眼的血尿 妊娠又はその可能性のある婦人 BCG 全身性過敏症反応

【重大な副作用】BCG 感染 間質性肺炎 全身性遅延型過敏性反応 萎縮膀胱 ライター症候群 腎不全

【備考】膀胱内用乾燥 BCG

P426

## 血液製剤 凝固因子製剤

ノナコグアルファ(遺伝子組換え)

nonacog alfa (genetical recombination)

★ベネフィクス BeneFIX

ファイザー

コード 薬価

静注用:2000 国際単位/V [ヘネフ 61] 206,136

【効】血友病 B(先天性血液凝固第 IX 因子欠乏症)患者における出血傾向の抑制

【用】添付された溶解液を全量用いて溶解し、数分かけて緩徐に静注 初回用量:50 国際単位/kg (適宜増減) 次回以降:患者の状態、血液凝固第 IX 因子の上昇値に応じて適宜増減

【原禁】本剤成分又はハムスターたん白質過敏症

【重大な副作用】ショック、アナフィラキシー様症状 血栓症

【備考】遺伝子組換え血液凝固第 IX 因子製剤

P464

## 検査補助薬

ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組換え)

thyrotropin human alfa (genetical recombination)

★タイロゲン Thyrogen

佐藤製薬

コード 薬価

筋注用:0.9mg/V [タイロ 61] 102,849

【効】(1)分化型甲状腺癌で甲状腺全摘又は準全摘術を施行された患者における、放射性ヨウ素シンチグラフィと血清サイログロブリン(Tg)試験の併用又は Tg 試験単独による診断の補助 (2)分化型甲状腺癌で甲状腺全摘又は準全摘術を施行された遠隔転移を認めない患者における残存甲状腺組織の放射性ヨウ素によるアブレーションの補助

【用】1Vを注射用水 1.2mLで溶解し、その 1mL(0.9mg)を 24 時間間隔で 2 回臀部筋注

【禁】本剤成分又は甲状腺刺激ホルモン製剤過敏症 妊婦、又はその可能性のある婦人 授乳婦

【備考】遺伝子組換えヒト型甲状腺刺激ホルモン製剤